

平成30年度 当初予算案



誰もが輝くまちへ
 未来への種を蒔く予算

▲こどもたちの未来が輝くまちへ

**平昌2018冬季パラリンピック
 クロスカントリー競技**
区内在住 新田佳浩選手出場
皆さんの声援が選手の後押しに!



深川小学校から贈られた応援の寄せ書きを受け取る新田佳浩選手(中央)と荒井秀樹日本代表監督(右)

3/9(金)~18(日)に開催される平昌2018/パラリンピック冬季大会に、クロスカントリー競技の日本代表選手として、区内在住の新田佳浩さんが出場します。新田選手の冬季パラリンピック出場は1998年の長野から6大会連続。2010年のバンクーバー大会では2種目で金メダルを獲得し、同年、区はその功績をたたえ、文化・スポーツ功労章を贈りました。

新田選手からは「集大成を迎える大会なので、区民の皆さんにこのがんばりを伝え、小・中学生に自分たちもがんばりたいと思ってもらいたい」とコメントをいただきました。平昌での活躍を、みんなで応援しましょう!

平成30年度予算の特徴
 東京2020大会に向けた気運醸成の取組みとして、大会500日前イベントを開催するほか、区内で実施予定の競技が体験できる「(仮称)競技体験キャラバン」を実施していきます。また、障害者(児)施設における障害者スポー

行政改革の推進
 特別区税は増収となりますが、景気動向や税制度の改正による影響を受けやすい財政構造であるため、先行きを楽観視はできません。区では、事業の見直しや再構築、

多様な行政需要への対応や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた準備、その先のレガシー構築を見据えた施策を打ち出し「未来への種を蒔く」ことで、誰もが輝くまちへ発展させる予算として編成しました。

ツの体験に関する経費等の補助を行っていきます。さらに、中・長期的な未来を見据えた取組みとして、平成32年度以降の区の道筋を描く新長期計画の策定準備を開始します。

そのほか、区の喫緊の課題である待機児童解消のための認可保育所整備や、児童・生徒の収容対策として既存小・中学校の増改築を行っていきます。

誰もが輝くまちへ
 平成30年度の江東区当初予算案は、一般会計で1、929億5、200万円と前年度に比べ3.4%減となりました。平成30年度当初予算は、2月21日から始まった平成30年第1回区議会定例会の審議を経て、決定します(2面に主な事業)。

全事業の総点検を推進するほか、職員定員の適正化、区民税等の収納対策の強化など歳入の確保に努め、将来に向けた安定的かつ継続的な区民サービスを提供できる財政基盤の確立に努めていきます。

区分	平成30年度	平成29年度	増減率
一般会計	1,929億5,200万円	1,996億4,200万円	3.4%減
国民健康保険会計	542億5,600万円	631億9,900万円	14.2%減
介護保険会計	344億6,600万円	313億9,700万円	9.8%増
後期高齢者医療会計	96億5,000万円	91億3,100万円	5.7%増
計	2,913億2,400万円	3,033億6,900万円	4.0%減

問 財政課予算担当
 ☎(3647)1760
 FAX(3647)9345